

## 商業広告を取り入れた路上変圧器の活用およびストリートサイネージ(R)による 情報発信の実証実験を港区（虎ノ門エリア）と開始

2020年1月16日

東京電力パワーグリッド株式会社

東電タウンプランニング株式会社

パナソニック株式会社

パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社

東京電力パワーグリッド株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 金子禎則）と東電タウンプランニング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 市田雅之、以下、東京電力パワーグリッド株式会社と合わせて「東電PG」）、パナソニック株式会社（本社：大阪府門真市、代表取締役社長 津賀一宏）とパナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 片倉達夫、以下、パナソニック株式会社と合わせて「パナソニック」）は、港区と共同で、商業広告を取り入れた路上変圧器の活用およびストリートサイネージ(R)※<sup>1</sup>による情報発信の実証実験を本日より虎ノ門エリアで開始します。

本実証実験は、商業広告を取り入れることで、ストリートサイネージ(R)の整備・維持管理費を創出し、地域・防災・観光などの情報発信の実用化を検証するものです。ラッピングも商業広告を取り入れます。路上変圧器は、防災・安全・景観の観点から推進されている無電柱化に伴い、設置が進んでおり、ディスプレイによる情報発信などに有効活用することで地域防災力の向上や観光振興が期待されています。このたび国土交通省が公募する路上変圧器を活用した防災・観光情報等の提供の有用性を検証する実証実験地域※<sup>2</sup>に、港区が都内で初めて選定されました。

設置場所は、2020年6月に開業する東京メトロ日比谷線の「虎ノ門ヒルズ駅」※<sup>3</sup>の地上出入口付近で、交通結節機能の強化が期待されるエリアです。平時は、区政情報や観光・地域情報と共に商業広告の配信を行います。非常時は港区が発信する日本語・英語・中国語・ハングルの4言語の緊急情報をテロップで即時配信し、地域住民のみならず、今後も増加が見込まれる訪日外国人・来街者に対する地域アピールおよび大規模自然災害対策として役立っています。

港区とは、2018年度にもJR田町駅東口にて商業広告配信の共同実証実験を実施しました。今回は、その検証結果を踏まえ、虎ノ門地域滞留者対策推進協議会と連携し、災害発生時の避難誘導の案内発信にストリートサイネージ(R)を活用し、帰宅困難者対策としての有用性を検証するほか、USBポートを備えたストリートサイネージ(R)で、スマートフォンへの充電など活用方法の検証を行います。あわせてセンサによる視聴分析も行います。





『出展：地理院地図(電子国土Web)をもとに  
東京電力パワーグリッド株式会社にて作成』

#### 設置場所

- ※1…東電 PG とパナソニックが共同で企画・開発する路上変圧器専用のデジタルサイネージの商標
- ※2…国土交通省 無電柱化に伴う路上変圧器を活用した「防災・観光デジタルサイネージ」の実証実験地域の公募について

[http://www.mlit.go.jp/road/road\\_fr4\\_000066.html](http://www.mlit.go.jp/road/road_fr4_000066.html)

- ※3…日比谷線霞ヶ関―神谷町駅間に誕生する新駅

- ※4…ニュースは株式会社 日本経済新聞社が提供。

<https://www.nikkei.co.jp/nikkeiinfo/news/press/613.html>

金融マーケット情報、気象情報、鉄道運行情報およびコンテンツを収録するプラットフォームは株式会社 QUICK が提供。

<https://corporate.quick.co.jp/2020/01/news/press/6189/>

以上